

「中村佑介展 in TAKARAZUKA 2025」 中村佑介サイン会開催決定！

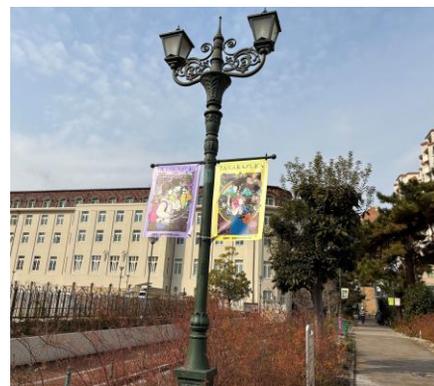
サイン会日程：2025年5月17日(土)、7月12日(土)

サイン会場：宝塚市立文化芸術センター

公益財団法人宝塚市文化財団(所在：宝塚市)は、宝塚出身のイラストレーター中村佑介の展覧会を2025年4月25日(金)から7月21日(月・祝)まで開催します。さらに展覧会の関連イベントとして2025年5月17日(土)および7月12日(土)に「中村佑介サイン会」を実施することが決定しました。

中村佑介氏の出身地である宝塚市ではこれまで、同氏が描いた宝塚観光ガイドブック(宝塚観光パンフレット)の表紙や、宝塚大劇場へ続く「花のみち」を飾るフラッグが街を彩ってきました。今回、満を持しての開催となる「中村佑介展 in TAKARAZUKA 2025」は、着色前の原画(線画)と完成画をあわせて展示する原画展です。原画は300点以上、完成画パネルなどは270点以上の他、映像展示や実物資料100点以上にもおよぶほぼ全ての作品を網羅し、中村佑介の軌跡を余すことなく辿ることができる内容です。

このたび、展覧会の開催を記念して中村佑介氏がお客様の目の前でイラストとサインを描くサイン会を開催することが決定しました。宝塚初となるこの貴重な機会に是非、足をお運びください。



中村佑介展 in TAKARAZUKA 2025キービジュアル イラストレーター・中村佑介氏 花のみちフラッグ掲出の様子

■ 中村佑介 (Yusuke Nakamura) プロフィール

1978年生まれ、兵庫県宝塚出身のイラストレーター。大阪芸術大学デザイン学科卒業。

ASIAN KUNG-FU GENERATION、さだまさしなどのCDジャケット、『夜は短し歩けよ乙女』『謎解きはディナーのあとで』、音楽の教科書などの書籍カバー、浅田飴、ロッテのチョコパイなどのパッケージほか、数多く手掛ける。ほかにもアニメのキャラクターデザイン、ラジオ制作、エッセイ執筆など表現は多岐にわたる。画集『Blue』『NOW』(共に飛鳥新社)は13万部を記録中。教則本『みんなのイラスト教室』(飛鳥新社)、ぬりえブック『COLOR ME』『COLOR ME,too』(共に復刊ドットコム)、最新刊CDジャケット全集『PLAY』(飛鳥新社)も好評発売中。 X[Twitter]: @kazekissa Instagram: Yusuke_Nakamura_jp

【お問い合わせ先】公益財団法人宝塚市文化財団(担当：三戸、加藤、浦内)

電話：0797-85-8844 FAX：0797-85-8873 Email：tac@takarazuka-c.jp

【2025年4月1日以降のお問い合わせ先】宝塚市立文化芸術センター(担当：三戸、加藤、浦内)

電話：0797-62-6800 FAX：0797-62-6880 Email：tac@takarazuka-c.jp

住所：665-0844 兵庫県宝塚市武庫川町7番64号

サイン会概要

日時：2025年①5月17日(土)②7月12日(土) 各日4回(12時～、13時～、14時～、15時～)
※各回30分前にご集合ください。集合場所は当選者に通知します。

定員：60名(各回15名)※申込み多数の場合は抽選

会場：宝塚市立文化芸術センター(宝塚市武庫川町7番64号)
①キューブホール②メインガーデン内ガーデンハウス

受付期間：①4月17日(木)～4月21日(月)※当選者には4月23日(水)までにEmailで通知
②5月20日(火)～5月25日(日)※当選者には5月28日(水)までにEmailで通知

受付：宝塚市文化財団Webサイト「中村佑介サイン会特設ページ」よりご予約ください
「中村佑介サイン会特設ページ」<https://takarazuka-c.jp/event/sign.html>



中村佑介サイン会
特設Webページ

<参加方法>

中村佑介 第2弾画集『NOW』(3,056円)または、中村佑介 CDジャケット全集『PLAY』(2,500円)のいずれかに展覧会のチケット(一律1,000円)がセットになった「サイン会参加券」を上記のWebページからご予約いただいた方にサイン会当日、サイン会参加券と対象商品引換券、展覧会チケットをお渡しします。申込み多数の場合は抽選を行います。当選が決定した場合、当選決定と同時に商品代金の引き落としを行います。



『NOW』と『PLAY』(飛鳥新社刊)

展覧会基本情報

展覧会名：中村佑介展 in TAKARAZUKA 2025

会期：2025年4月25日(金)～2025年7月21日(月・祝)

休館日：毎週月曜日(祝日の場合は開館。翌平日休館)

開館時間：10時～18時(メインギャラリーへの入場は17時30分まで)

会場：宝塚市立文化芸術センター 2階メインギャラリー(宝塚市武庫川町7番64号)

主催：公益財団法人宝塚市文化財団

後援：宝塚市、宝塚市教育委員会

企画制作：中村佑介展実行委員会

協力：宝塚市立手塚治虫記念館、株式会社飛鳥新社、大阪芸術大学
株式会社メープルオーダー

監修：中村佑介

公式HP：<https://takarazuka-c.jp/event/yn_intakarazuka.html>(宝塚市文化財団)

<<https://www.yn-ex.com/>>(中村佑介展)

宝塚市文化財団 中村佑介展



<チケット情報>

- 一般 1,400円(1,000円)、高校生以下 900円(500円)
- グッズ付き一般 1,700円(1,300円)、高校生以下1,200円(800円)
- 宝塚市文化財団友の会「タカラティエ」グッズ付き 800円 会員価格での販売はグッズ付きのみ

※()内は前売り料金/未就学児無料/兵庫県内の小・中学生はココロンカード、のびのびパスポートの提示で無料。

※前売り販売期間は2025年3月22日(土)10時～2025年7月21日(月・祝)15時

※障がい者と同伴者1名は無料。ご入場時に障がい者手帳をお見せください。

※グッズ付きチケットは数量限定です。グッズは展覧会場にて入場時にお渡しします。

窓口販売所：宝塚ソリオホール、宝塚ベガ・ホール(水曜休館)、宝塚文化創造館(月曜休館)

※チケット販売は9時～17時

※当日券は宝塚市立文化芸術センターで販売します。

オンライン：GETTIIS

<https://www.gettiis.jp/event/detail/101456/20250425AC>

ローンソチケット

<https://l-tike.com/event/mevent/?mid=748364>

(Lコード：54394)

展覧会の見どころ

- デビューから23年の仕事が一堂に会す！過去最大規模の作品展示数。 @YUSUKE NAKAMURA



- テーマ毎に手描き原画（額装）と完成画を展示。実物資料展示も多数！



- 等身大パネルやフォトスポットも！
会場内は基本撮影可能。
SNSへの投稿も可能です。



- 宝塚市でしか買えないオリジナルグッズの販売や、関連イベントを実施。複層的に展覧会を楽しむことができます。

プレス内覧会

2025年4月25日（金）の展覧会スタートに先駆けて、4月24日（木）にプレス関係者および招待客向けの内覧会を実施します。宝塚市で待望の個展開催を記念して、11時から中村佑介氏らがテープカットを行います。プレス関係者および招待客の皆さまには、テープカット終了後展覧会場へご入場いただきます。

日時：2025年4月24日（木）11時～17時

受付時間：10時45分～16時半

受付場所：宝塚市立文化芸術センター 2階メインギャラリー受付

展示会場：宝塚市立文化芸術センター 2階メインギャラリー

申込期間：3月27日（木）～4月21日（月）

申込みフォーム：<https://forms.gle/9ZSN7DwAv8mDRzRL6>

申込みフォーム



※受付期間を過ぎた場合や当日飛び込みで参加する場合、応募フォームを使用せず、名刺をご持参のうえ、当日直接受付場所へお越しく下さい。

※当日中村佑介の個別取材を希望する場合、申込みフォームでご希望をお知らせください。

<スケジュール>

- 10時45分～ 受付開始
- 11時 テープカット
- 11時20分頃 展覧会場オープン
- 16時30分 受付終了（展覧会場最終入場）
- 17時 内覧会終了

公益財団法人宝塚市文化財団について

住所：兵庫県宝塚市栄町2丁目1番1号 ソリオ1の3階
電話：0797-85-8844 公式HP：<https://takarazuka-c.jp/>

公益財団法人宝塚市文化財団は、地域文化の創造に寄与することを目的として、1994（平成6）年4月に設立されました。宝塚ベガ・ホール、宝塚ソリオホール、宝塚文化創造館、宝塚市立文化芸術センター（2024（令和6）年4月～）の管理運営を行うほか、地域社会とアーティスト・観光・商工業など、様々な分野をつなぐ「地域のつなぎ手」として、市内の文化芸術活動を推進しています。

管理運営施設紹介



宝塚ベガ・ホール

1980年に開館した音楽専用ホール。舞台正面にパイプオルガンを備え、手割りのレンガでできた壁面が特徴。「宝塚ベガ音楽コンクール」や「宝塚国際室内合唱コンクール」、「オルガンコンサート」など、クラシック音楽をはじめとする多彩な音楽事業を展開しています。



宝塚ソリオホール

舞台と客席を昇降させることができ、さまざまな用途に利用できる多目的ホール。「舞台公演」「映画会」「ライブ」など幅広い芸術分野を展開し、「舞台芸術との最初の出会いの場所」を目指しています。



宝塚市立文化芸術センター・庭園

かつて宝塚ファミリーランドがあった場所に2020年に新たに開館した文化芸術施設。ギャラリー、ライブラリーなど緑豊かな庭園があるアーツセンター。「創造・交流・感動の空間」として、自然や芸術にふれあえる憩いと交流の場です。



宝塚文化創造館
（宝塚音楽学校旧校舎）

多くのタカラジェンヌが巣立った旧校舎を活かし、多目的に利用できる講堂ホールと当時の面影を残すバレエ・日舞教室を完備。宝塚歌劇LOGによるコンサートなど、宝塚歌劇にまつわる事業を展開しています。2階の「すみれミュージアム」では、音楽学校と歌劇に関する展示・上映を行っています。